

令和8年度 秋葉区 主な取り組み

『里山と水に囲まれて 花と緑あふれる 笑顔咲きそろうまち』



●: 特色ある区づくり事業	29,000千円
●: 主要事業	233,000千円
●: その他事業	5,165千円
計	282,665千円

I 環境に配慮した潤いとやすらぎのあるまち 126,000千円

- 秋葉区の花と緑にふれあい隊** (6,000千円)
 - 新津川・秋葉公園でのクリーン作戦の開催や国道403号フラワーロード事業など区民協働による保全活動を実施
- 廃止石油坑井封鎖** (120,000千円)
 - 朝日地区の坑井封鎖に向けた周辺地域の測量や仮設道路の造成などを実施



新津川

II やさしさがあふれる楽しく元気なまち 118,935千円

- 秋葉区児童館設置事業** (2月補正108,000千円) **【新規】(繰越)**
 - 既存の公共施設「新津健康センター」を有効活用し、秋葉区初の児童館を秋ごろを目途に整備
- アキハ移動式こどもの居場所づくり** **【拡充】** (5,000千円)
 - 既存施設を活用した「移動式こどもの居場所づくり」を5地域に拡大して実施
- 子ども・若者公共交通乗車促進** (770千円)
 - 対象路線バスの学生運賃を割引する社会実験と併せてアンケート調査を行い、生活交通を改善
- 児童期・思春期の子どもと保護者の支援** (590千円)
 - 不登校など、児童期や思春期の子どもと保護者に対して、講演会・相談会を開催
- げんきに育つ親も子も**
～妊娠期から支え、見守る～ (4,175千円)
 - 子育ての不安感や負担感を軽減し、地域で安心して子育てできるよう、子育てサロン「小さな森の広場」や子育てサポーター訪問事業などを実施
- アキハで生涯げんき!**
～地域ぐるみで体も心もいきいきフレイル予防～ (400千円)
 - フレイル予防の普及啓発
 - 運動の普及に取り組む住民サポーターへの研修会開催

秋葉区児童館設置事業
(新津健康センター)

移動式こどもの居場所づくり

III 歴史と個性を活かすまち 6,450千円

- アキハ「鉄道物語」** **【拡充】** (5,480千円)
 - 鉄道関連サミットの開催など、秋葉区のキラコンテンツ“鉄道”を区民・事業者が協働で活用し、まちなか活性化と交流人口の増加を推進
- アキハ石油文化学習** (790千円)
 - 日本の産業を担ってきた石油産業遺産群などの歴史や文化など区の魅力を発信
- アキハの宝こども探検ツアー** (180千円)
 - 地域コミ協などと協働し、こどもたちが秋葉区の歴史・文化や自然等を体験しながら学ぶ機会を提供



アキハ「鉄道物語」



アキハ石油文化学習

IV 可能性を生み出し・育て・活かすまち 9,880千円

- アキハ大麦・小麦・もち麦推進** (1,350千円)
 - 国産の需要が見込まれる麦類への作付け転換を進める取組(学校給食、パンまつりなど)
- アキハスンプロジェクト vol.3** **【拡充】** (6,430千円)
 - 秋葉区の特性・魅力発信によるシビックプライドの醸成
 - 首都圏などの大学生を対象とした「フィールド体験ツアー」の拡充実施により、交流・関係人口を創出
- 花まる鉢花支援** (800千円)
 - 新日本海フェリーあざれあ号での秋葉区産アザレア展示PR
 - 県外バイヤーとの鉢花商談会の支援
- アキハ人財育成** (1,300千円)
 - 秋葉区の特性と魅力を効果的に発信できる人財の発掘と支援
 - 地域と学校における協働推進のための講演会及びワークショップ開催



フィールド体験ツアー



Akiba教育懇談会

区自治協議会提案事業

5,900千円



こども真ん中プロジェクト

複雑・多様化する地域課題に対応し、市民力・地域力を活かしたまちづくりを進めるため、区自治協議会の提案をその主体的な取組のもとに事業化。子育て支援団体と連携して、地域全体で「こども真ん中の秋葉区づくり」を実践。

16 きらめきサポートプロジェクト (1,400千円)

17 生活交通の検討と防災講座 (500千円)

18 Akihaくみん大学 (350千円)

19 コミュニティFMを活用した自治協議会PR (800千円)

20 秋葉区未来ビジョン (2,200千円)

21 こども真ん中プロジェクト (650千円)